

道路建設工事業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時 間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	13 ～ 14	工事の現場で、側溝用コンクリート製品をエンジンカッターで切断中、体位を変更した際に切断片に足を置いたため、コンクリート片の崩壊が発生し、高さ1mからバランスを崩し転落した。転落時に左足首がコンクリート製品に挟まり横に転倒、左足首を捻挫・骨折した。	28	1 ～ 9
4	11 ～ 12	工事現場に仮設したL型擁（2.25m）の専用金具を取り外しようとした際、思いのほか簡単に外れた為、反動でバランスを崩し足元が濡れていた為、滑り転倒した。その際とっさに左手を着いた為、そこに体重がかかり負傷した。	59	1 ～ 9
6	15 ～ 16	法面補修工事現場において、法面整形作業中に地中にあった鉄製の土留枠に気付かず踏んだ際に、左足底部を負傷した。	34	1 ～ 9
7	14 ～ 15	防雪柵に絡みついた雑草や蔓等の除草作業中、右足を防雪柵下部（地上高90cm程度）の上に置き、左足を転落防止柵（地上高110cm程度）の上に置きながら作業をしていた。作業を終えて下に降りようとした際に足を滑らせ落下し、右足が防雪柵に接触し負傷した。	24	50 ～ 99
7	23 ～ 24	市街地標識設置のため、道路を規制して作業中、資材車から標識板（2.5m×0.6m、約30kg）1枚を作業員2名で取り降ろしにかかったところ、被災者が標識板の中央部にいたため、邪魔になると思い避けようとしてバランスを崩し、道路脇（高低差1.4m）に転落した。	35	1 ～ 9
10	13 ～	既設側溝を取壊し、新たに融雪側溝を設置する工事現場で取壊し及び掘削が完了し、掘削面の土留工として仮設矢板と腹起し、支保工を準備していたところ、民地側にあった	50	1 ～

	14	ブロック塀が突然倒壊し、中にいた被災者の下半身に落下した。		9
10	15 ～ 16	休憩中、土羽の上に板4枚重ねた上に座りお茶を飲んだ時、後ろ向きに転げ落ちた。第3腰椎を骨折した。	56	1 ～ 9

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html